

事業所における自己評価結果

事業所名		S E Dスクール京都竹田		公表日		2025年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・利用定員、スペースは基準を満たしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・各時間でそれぞれの課題や特性に合わせ職員間で打合せをし適切な環境での支援を心掛けます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・定期的に掃除、消毒等を行い、清潔を保つよう心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・支援後のカンファレンスや支援計画会議の際は職員全員で情報共有し、各専門分野の知識により意見を出しあえる仕組みを採用しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年実施し、頂いたご意見に関してはスクール内で共有し改善に努めています ・改善内容を含め公表しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・現在は第三者評価を行っていません。	今後は実施を検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・職員の学びの機会を保障できるよう業務内容や時間等の配慮ができるよう心がけています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・HPIにて支援プログラムを公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・統一したアセスメントシートを利用し、保護者様とのモニタリング、職員カンファレンスを行い専門性を活かした支援の提供ができるよう職員全員で支援の計画会議を行っています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・個別支援計画に記載しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・毎回のプログラムは職員が個別に作成していますが、支援毎にカンファレンスを行い情報を共有した上で利用児の発達に沿った支援の提供ができるよう心がけています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・各職員の専門性を生かしたプログラムを提供できるようにしています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・定期的な小集団での支援や、必要に応じ共同プログラムを取り入れています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・セッション開始前には各担当職員が環境設定などの打ち合わせをスムーズな支援提供ができるようにしています。 また、毎回支援後のカンファレンスを行い支援記録・支援の状況を共有しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6カ月に一度保護者様とモニタリングを行いお子さまの発達状況を共有し支援計画の見直しに反映させています。		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことでの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・スクール長及び担当指導員が会議に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・個人情報に配慮し、必要があれば関係機関との情報共有や連携支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・保護者様の同意をいただいたうえで保育園・幼稚園等、積極的に支援情報の共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・就学の際は支援シートなどで情報の共有をしています。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			・現在は未実施ですが今後は機会を設けていきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のことと活動する機会があるか。	3	3	・保護者様了解のもと所属園との連携・共有機会を設けていますが、個人情報保護の観点から不特定な人員の交流や活動の機会は設けていません。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・支援後の振り返り時に丁寧に対応することを心がけています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・来所時に個別に対応方法や情報共有を行っています。研修等は実施していません。	
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・利用契約時にわかりやすく説明することを心がけています。また、ご質問等には適宜お答えしています。	
保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・個別支援作成時は保護者様とのモニタリングで意向の確認を行っています。	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・毎利用時に保護者様と面談する機会を設けています。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・保護者会等はありません。	・今後は保護者様同士が集える機会を設ける予定です。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・毎回の振り返り時の相談に加え、保護者様から要望があれば事業所内相談を行なっています。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・コモンやスクール内掲示で情報発信しています。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・職員には定期的な研修で取扱いの注意を意識づけています。	
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・それぞれに合わせわかりやすく伝えるよう心がけています。	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	1	5	・ご利用者様以外の一般の方への開放等は行っていません。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・定期的な研修を行っています。 ・年2回緊急時対応の訓練を実施しています。 ・マニュアル等は社外秘のため利用者様への公表はしていません。	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	45	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・毎日のカンファレンス時に職員間で事例共有・情報記録をしています。	
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・職員は定期的な研修を行い適切な対応を心がけています。	
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		現在決定事例はありませんが、必要な場合は対応できるよう準備しています。	